

昭和六十一年度現代宗教研究所事業計画案

1、教化研究会議

①第十九回中央教化研究会議の企画・運営

(イ)九月上旬 池上本門寺にて 一泊二日

(ロ)統一テーマ お題目総弘通の具体化をめざして

(ハ)目標 標 お題目総弘通運動を各寺院・教会・

結社及び管区・教区でいかに取組む

か、未信徒に対してどのようにお題

目の輪をひろげていくか、その運動

計画と実施について研究、討議する。

(ニ)企画運営 教務部・現宗研並びに護法伝道部と

の協議を行い、現宗研囑託・研究員

を中心に運営委員会を開いて企画・

運営等の要綱を定める。

②教区教化研究会議

(イ)十教区にて開催

(ロ)統一テーマは「お題目総弘通運動の具体化をめざ

して」とする。これに各教区の特色ないし重要な

課題をテーマに加えて研究、討議する。

(ハ)教区内宗務所・教務部・現宗研主催、教区内運営

委員会の準備運営にて取り組む。

2、研究

①教化学研究

(イ)教化の事例交流および体系化をはかる。現代教化

の内容をまとめる。日蓮宗の寺院論・僧侶論・檀

信徒論・現代教化論・対象別教化方法論・法器養

成教育論など。

(ロ)教化学研究会を年二回開く。

②日蓮主義研究

(イ)日蓮聖人の信行観・社会観・教団論・教化論など

現在研究過程にある諸問題を継続して進める。

(ロ)現代日蓮主義の思想と行動についての研究。小川

泰堂、田中智学、加藤文雅、片岡随喜、山川智広、

高山樗牛などの所論について引続き研究を進める。

(イ)宗門内外の日蓮聖人研究者を対象に「日蓮聖人研究セミナー」を開く。

(ニ)日蓮主義の意味とあり方及びその歴史的な思想行動を検討する「日蓮主義研究集会」を開く。

③教団史研究

(イ)日蓮宗の近現代史を中心とする教団史の研究を行う。

(ロ)「教団史研究会」を開き、「日蓮主義研究」と連関しつつ近現代の日蓮宗の歩み、近代を中心に日蓮宗を支えた人物の信仰と行動について研究する。

(ハ)昭和六十年の年次年表を作成する。

④新興宗教・仏教各宗・諸宗教の研究

(イ)「題目系新興宗教」の歴史と現状、その「題目」のあり方についての研究を行う。

(ロ)仏教各宗研究機関との交流をはかり研究所間の研究交流会を開く。

⑤研究講座の開催

(イ)教学・教化学、日蓮教団史、新興宗教、社会問題

などテーマとする。

(ロ)本宗教師を対象に年一回以上開く。

⑥研究例会の開催

(イ)「現代社会の諸問題と日蓮宗教化」を基本テーマに、研究員による例会を引続き開き、前年度以来検討中のテーマについてより一層ほりさげる。

(ロ)基本テーマにもとづく個別テーマと担当者は、次の通り。

1	脳死問題と日蓮宗教化	山口裕光研究員
2	安楽死問題と日蓮宗教化	古河良皓研究員
3	高齢化社会と日蓮宗教化	大島啓禎研究員
4	核問題と日蓮宗教化	伊藤立教研究員
5	家庭・家族問題と日蓮宗教化	蓮見高純研究員
6	心の病と日蓮宗教化	渡部公容研究員
7	都市化現象の中の寺檀関係と日蓮宗教化	久住謙是 嘱託
8	「題目系」新興宗教と日蓮宗教化	石川教張 主任 赤堀正明 主任

9 新・新興宗教問題と日蓮宗教化 植田観樹研究員
片野博義研究員

10 現代人の意識と日蓮宗教化 望月兼雄 所員

11 身障者・社会福祉と日蓮宗教化 鈴木浄元研究員
嶋田堯嗣研究員

12 教育・非行問題と日蓮宗教化 本良信典研究員
高橋謙祐 所員

13 環境問題と日蓮宗教化 常岡裕道研究員
神蔵義孝研究員

3、調査

①「宗勢調査報告書」の作成。総合企画部の委嘱により目下作業中の調査解析をまとめ報告書を作成する。

②過疎化寺院の調査

③都市及び都市周辺寺院の調査

④信行会・信行活動に関する実態調査

⑤現代人の宗教意識に関する調査

⑥現代社会の諸問題についての資料・文献の収集

⑦教化資料の収集・分類・保管・目録作成および教材

資料の作成活用などの教化センター機能の充実

4、編集・出版

①「現代宗教研究」第二十一号の発行

②各種教材の作成・配布

③昭和六十年次年表の作成・配布

④教化交流誌「教化の友」の編集協力

⑤その他必要な教化資料の作成・発行

5、会議

①顧問会——年度計画と報告を中心に検討

②囑託会議——中央教研の運営を中心に教化研究活動の実施について検討

③研究員会議——年度計画の検討とその実施について

検討

④院内各部との提携協力——特に「お題目総弘通運動」

関係実動部門会議への参画

6、お題目総弘通運動のプランの検討